

高知県感染症発生動向調査（週報）

2012年 第26週（6月25日～7月1日）

★ お知らせ

○ 百日咳に注意して！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の0.33から0.37と少し増加しました。患者の咳やくしゃみ、唾などのしぶきに含まれる百日咳菌により飛沫感染及び接触感染するので、マスクや咳エチケット、手洗いを心がけてください。定期の予防接種は生後3ヶ月から接種可能なので、DPT3種混合ワクチン未接種児は、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておく事をお勧めします。

○ ヘルパンギーナに注意して！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の1.50から1.97に増加しました。飛沫感染、接触感染により感染するので、外から帰った後、食事の前、トイレの後などに手洗いを行うことが大切です。患者自身はもちろん、周りの人も、意識的に手を洗いましょう。治った後も3～4週間は便にウイルスが排泄されるため、タオルやコップ等を共用することは避けましょう。

★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数(人)	県内の傾向
感染性胃腸炎	↘	2.87	安芸、中央東で増加したが、その他の保健所では変化が無いか減少した。
ヘルパンギーナ	↗	1.97	幡多、須崎、中央西で増加した。幡多では警報値を超している。流行のシーズンなので注意が必要。
水痘	→	1.63	中央西、須崎、幡多で増加した。須崎では警報値を超している。幡多、中央西では注意報値を超している。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	1.60	中央西、高知市、須崎で増加した。須崎、中央西、高知市は注意報値を超している。
伝染性紅斑	→	0.77	須崎で増加した。須崎では警報値を超している。高知市では引き続き注意報値を超している。

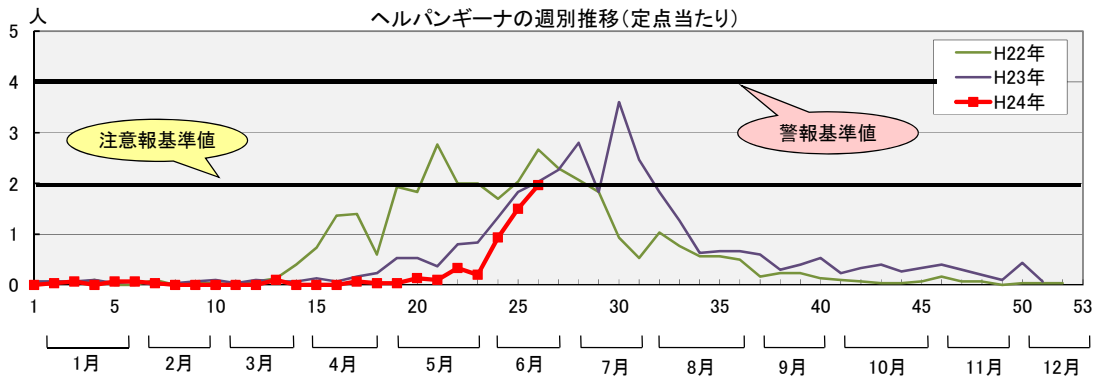
★ 地域別感染症発生状況



★ 気を付けて！

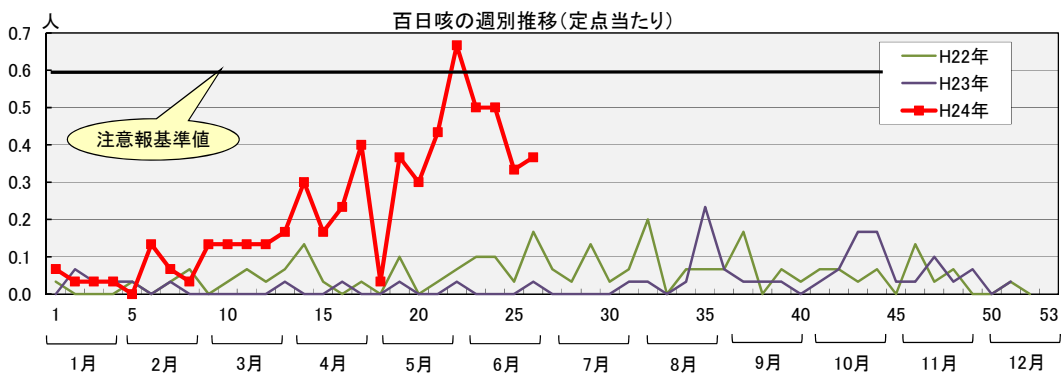
○ ヘルパンギーナ：1.97（注意報値：2.00 警報値：4.00）

定点医療機関からの報告が定点当たり 1.97（前週：1.50）と増加した。幡多 6.20、須崎 1.00、中央西 1.67 で増加し、幡多では警報値を超している。病原体定点からは A 群コクサッキーウイルス（Coxsackievirus）が 6 例検出されている。これから流行が考えられるので、手洗いやうがい、咳エチケットをして予防しましょう。



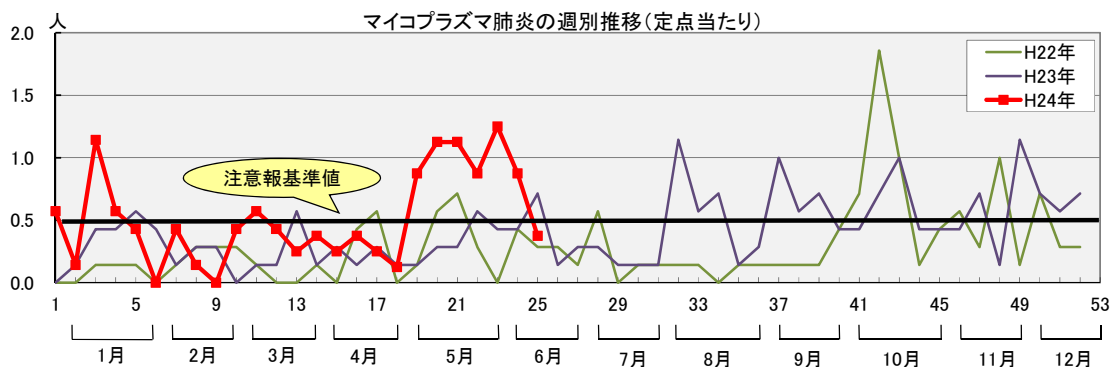
○ 百日咳：0.37（注意報値：0.60 警報値：1.00）

定点医療機関からの報告は定点当たり 0.37 と前週からあまり変化は無いが、例年の同時期と比較すると高い値が続いている。須崎では 4.00 と引き続き警報値を超している。病原体定点からは百日咳菌（*Bordetella pertussis*）が 13 例検出されており、幡多保健所管内では 4 月以降初めての検出になる。感染を拡げないために手洗いの励行と咳エチケットとしてマスクを着用して予防しましょう。



○ マイコプラズマ肺炎：0.38（注意報値：0.50 警報値：2.00）

定点医療機関からの報告が定点当たり 0.38（前週：0.63）と減少したが、高知では 0.60 と 8 週連続注意報値を超している。病原体定点からは肺炎マイコプラズマ（*Mycoplasma pneumoniae*）が 11 例検出されている。予防法としては、手洗いやうがいの励行と、咳エチケットとしてマスクを着用しましょう。



★ 病原体検出情報

前週搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
26	百日咳	9	女	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>
26	百日咳	1ヶ月	男	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>
26	百日咳	35	女	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>
26	百日咳	1ヶ月	女	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>
26	百日咳	8	男	中央西	<i>Bordetella pertussis</i>
26	百日咳	3	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
26	百日咳	15	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
26	百日咳	11	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
26	百日咳	13	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
26	百日咳	7	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
26	百日咳	14	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
26	百日咳	3	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
26	百日咳	10	女	幡多	<i>Bordetella pertussis</i>
26	マイコプラズマ肺炎	12	男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
26	百日咳	11	男	中央西	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
26	マイコプラズマ感染	12	男	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
26	マイコプラズマ感染	11	男	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
26	マイコプラズマ	12	女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
26	百日咳	32	女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
26	百日咳	2	女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
26	百日咳	36	女	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
26	マイコプラズマ肺炎	2	女	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
26	百日咳	8	男	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
26	マイコプラズマ肺炎	7	男	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
26	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	男	高知市	<i>Streptococcus pyogenes T1</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
25	手足口病	1	男	中央西	Coxsackievirus A6
24	上気道炎	1	男	須崎	Coxsackievirus A9
25	ヘルパンギーナ	7ヶ月	女	須崎	Coxsackievirus A12
25	咽頭炎	2	女	中央東	Coxsackievirus A4
25	ヘルパンギーナ	2	女	中央東	Coxsackievirus A4
25	—	2	女	中央東	Coxsackievirus A9
25	手足口病	2	女	須崎	Human herpes virus 6
25	無菌性髄膜炎	9	女	高知市	Mumps virus
25	流行性耳下腺炎	9	女	高知市	Mumps virus
25	急性気管支炎	9ヶ月	男	高知市	Rhinovirus
25	気管支炎	8	男	須崎	Rhinovirus

* 「保健所」について、患者の居住地を管轄する保健所名を記載する。

★ 全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2 類	結核	3	75	70 歳代 (女)	安芸
				60 歳代 (男)	高知市
				50 歳代 (男)	幡多
5 類	梅毒	1	3	60 歳代 (男)	高知市

★ 定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	あけぼの小児クリニック	マイコプラズマ肺炎 2 例 (11、12 歳) キャンピロバクター腸炎 1 例 (1 歳)
	早明浦病院小児科	ロタ、アデノ同時感染性胃腸炎 1 例 (1 歳男) マイコプラズマ肺炎 1 例 (16 歳男) 伝染性紅斑 1 例 (5 歳男)
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 3 例 (7 歳女 2 名、15 歳男) サルモネラ O-7 群 1 例 (11 歳男) 百日咳 2 例 (PTIgG160 以上 FAHIgG160 以上 5 歳男、7 歳女)
	三愛病院小児科	マイコプラズマ肺炎 2 例 (8 歳男、9 歳女)
	細木病院小児科	ロタ (+) 1 例 (1 歳男)
中央西	日高クリニック	アデノウイルス感染症 1 例 (1 歳女)
	くぼたこどもクリニック	水痘 2 例 (1 歳男 2 名)
須崎	もりはた小児科	アデノウイルス扁桃炎 1 例 (2 歳男) 百日咳 8 例 6/20～6/26 百日咳 LAMP 法陽性 10 例母子感染 1 例あり
幡多	渭南病院小児科	マイコプラズマ感染症 1 例 (9 歳女)
	松谷内科	感染性腸炎が散発していました
	さたけ小児科	膿痂疹 1 例 (1 歳男) 帯状疱疹 1 例 (2 歳女) マイコプラズマ感染症 1 例(10 歳男)

★ 全国情報

第24週 (6/11～6/17)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核406例

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症92例、パラチフス1例4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎6例、
つつが虫病10例、デング熱2例、日本紅斑熱4例、マラリア1例、レジオネラ症12例

5類感染症：アメーバ赤痢6例、ウイルス性肝炎2例、クロイツフェルト・ヤコブ病4例、劇症型溶血性レン
サ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群21例、ジアルジア症2例、梅毒13例、破傷風1例、
バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん53例、麻しん6例

報告遅れ：急性脳炎4例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例

◆麻しん・風しん 2012年第1～24週 (2012年6月20日現在)

麻しんの2012年第1～24週 (2012年1月2日～6月17日診断のもの) の累積報告数は147例であり、昨年同時期の約半数にとどまっている。都道府県別の報告数は愛知県31例、東京都25例、埼玉県18例、千葉県12例、兵庫県10例、栃木県9例、神奈川県9例の順であり、人口100万人当たり報告数で見ると、栃木県4.48、愛知県4.18、山梨県3.48、岡山県2.57、埼玉県2.50、福島県2.46、岐阜県2.40の順であった。一方、28道府県で報告がなかった。年齢群別では、0～1歳の症例が最も多いが、20歳以上の成人も全体の45% (66例) を占め、そのなかでは20代 (31例) と30代 (23例) が中心であった。ワクチン接種歴別報告数では、接種歴のない症例が50例 (34%) で最も多くを占めた。今年2009年以降報告のなかった麻しん脳炎の合併例が1例報告された (注：2012年第15週の本稿に掲載した、2例のうち1例は、その後、脳炎の合併はないとして訂正された)。感染地域については、国内 (国外感染例から国内で感染した2次～3次感染6例を含む) 136例、国外8例 (タイ4例、中国1例、台湾1例、フィリピン1例、パキスタン1例)、国内または国外3例 (東京都/ベトナム1例、大阪府/

インド1例、大阪府/英国1例)であった。麻疹ウイルスの遺伝子型は55例で報告されている。

麻疹の2012年第1～24週の累積報告数は393例であり、これまで最多の累積年間報告数であった2011年の371例を既に超え、昨年(2011年)の同時期(214例)と比較して1.8倍の報告数となった。都道府県別の報告数は兵庫県121例、大阪府102例、東京都45例、京都府20例、神奈川県13例、千葉県9例の順であり、人口100万人当たり報告数で見ると、兵庫県21.7、大阪府11.5、京都府7.6、福井県3.7、滋賀県3.5、東京都3.4の順であった。男女別にみた年齢群別ワクチン接種歴別報告数では、男性303例(77%)、女性90例で男性が女性の3倍以上報告されており、年齢については男性の年齢中央値32.0歳(Q1-Q3*:22.0-38.0)、女性の年齢中央値27.0歳

(Q1-Q3:17.0-36.8)であった。20歳以上の男性(247例)だけで報告数全体の63%を占めた。ワクチン接種歴については接種歴の無い症例が男性で24%、女性で35%だった。感染地域は388例(99%)が国内感染、国外での感染(中国)1例、国内または国外での感染4例〔茨城県/米国1例、東京都/中国1例、国内(都道府県不明)/フィリピン1例、国内(都道府県不明)/国外(国不明)1例]であった。流行している地域では、学校内、職場・施設内での集団発生が報告されており、報告数が少ない地域でも、妊婦や妊婦の家族での感染、同僚に妊婦がいる成人での感染が報告されている。*第1四分位数 - 第3四分位数

麻疹は、かつてのようないわゆる子どもの感染症ではなく、年齢にかかわらず命に関わる重篤な疾患である。また、麻疹は一般的には数日で治癒する予後良好な疾患ではあるが、麻疹と同様、成人での流行が発生しうる感染症であり、さらに麻疹ウイルス感染に生じる大きな問題として、先天性麻疹症候群

(congenital rubella syndrome : CRS)がある。これは妊娠前半期の妊婦の感染により、麻疹ウイルスが胎児に感染し、先天異常を含む様々な症状を呈する症候群である。2011年には夫から感染したと思われる妊婦の麻疹感染例が複数報告されたが、今年は昨年を上回る麻疹の発生状況でありCRSの発生するリスクも過去5年間で最も高い状態といえる。

昨年度より、麻疹を疑ってウイルス分離やPCR検査を実施し、麻疹を否定された検体について麻疹を含めた他のウイルス性発疹症の鑑別を積極的に行っている自治体が複数ある。発熱性発疹性疾患を診断する場合には、麻疹・麻疹の鑑別も公衆衛生上の重要性から、地域の流行状況に関わらず常に念頭におき、適切な検査診断をすること、どちらかの確定診断がついた際には、届出医・行政の連携で迅速な対応に繋げることが重要である。

麻疹・麻疹は、ともに特異的な治療法はないものの、予防接種で予防可能な感染症である。定期接種対象者である小児や中学1年相当・高校3年相当の年代(2008年度～2012年度の5年間のみ)の者に加え、麻疹・麻疹の患者に接する機会がある医療従事者・教育福祉関係者をはじめ、海外渡航を予定している者、今後妊娠を希望する女性やその家族などの成人の方も、麻疹・麻疹の罹患歴や接種歴がない、または不明な場合には積極的に予防接種を受けることを検討していただきたい。また、2004年に出された「麻疹流行および先天性麻疹症候群の発生抑制に関する緊急提言」には、妊婦の麻疹患者、または麻疹患者接触のあった妊婦への対応をはじめ、予防接種や積極的疫学調査についてまとめられているので参考にいただきたい。

.....

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第26週 平成24年6月25日(月)～平成24年7月1日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第26週							計	前週	全国(25週)	高知県(26週未累計) H24/1/2～H24/7/1	全国(25週未累計) H24/1/2～H24/6/24
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ								()	4 (0.08)	750 (0.15)	16,405 (341.77)	1,620,189 (329.04)	
小児科	咽頭結膜熱				2				2 (0.07)	5 (0.17)	1,700 (0.54)	89 (2.97)	23,637 (7.51)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		9	22	7	7	3		48 (1.60)	43 (1.43)	7,357 (2.34)	1,476 (49.20)	165,934 (52.74)	
	感染性胃腸炎	9	16	37	9	3	12		86 (2.87)	106 (3.53)	20,202 (6.42)	5,677 (189.23)	639,398 (203.24)	
	水痘	3	7	7	8	10	14		49 (1.63)	48 (1.60)	4,058 (1.29)	1,549 (51.63)	114,134 (36.28)	
	手足口病		3						2 (0.07)	5 (0.17)	1,464 (0.47)	54 (1.80)	12,083 (3.84)	
	伝染性紅斑	1	2	12	1	5	2		23 (0.77)	26 (0.87)	644 (0.20)	641 (21.37)	14,054 (4.47)	
	突発性発疹	1		12	2	2			17 (0.57)	12 (0.40)	2,111 (0.67)	347 (11.57)	41,469 (13.18)	
	百日咳			3					11 (0.37)	10 (0.33)	103 (0.03)	198 (6.60)	1,886 (0.60)	
	ヘルパンギーナ	1	6	14	5	2	31		59 (1.97)	45 (1.50)	4,513 (1.43)	199 (6.63)	12,937 (4.11)	
	流行性耳下腺炎		1	3	1				11 (0.37)	15 (0.50)	1,702 (0.54)	506 (16.87)	38,080 (12.10)	
RSウイルス感染症							1	1 (0.03)	()	341 (0.11)	620 (20.67)	25,688 (8.17)		
眼科	急性出血性結膜炎								()	()	14 (0.02)	()	273 (0.40)	
	流行性角結膜炎								()	1 (0.33)	365 (0.54)	22 (7.33)	9,073 (13.34)	
基幹	細菌性髄膜炎								()	()	4 (0.01)	6 (0.86)	227 (0.49)	
	無菌性髄膜炎								()	()	20 (0.04)	11 (1.57)	312 (0.67)	
	マイコプラズマ肺炎			3					3 (0.38)	5 (0.63)	422 (0.90)	118 (16.86)	9,514 (20.42)	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								()	()	10 (0.02)	4 (0.57)	344 (0.74)	
計	(小児科定点当たり人数)	15 (7.50)	44 (6.30)	115 (10.17)	33 (11.00)	37 (18.50)	71 (14.20)	315 (10.42)		45,780	27,922 (720.31)	2,729,232		
前週	(小児科定点当たり人数)	19 (9.50)	55 (7.69)	136 (11.88)	25 (8.32)	21 (10.50)	70 (13.80)		326 (10.61)					

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第26週							計	前週	全国(25週)	高知県(26週未累計) H24/1/2～H24/7/1	全国(25週未累計) H24/1/2～H24/6/24
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ									0.08	0.15	341.77	329.04	
小児科	咽頭結膜熱				0.18				0.07	0.17	0.54	2.97	7.51	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.29	2.00	2.33	3.50	0.60		1.60	1.43	2.34	49.20	52.74	
	感染性胃腸炎	4.50	2.29	3.36	3.00	1.50	2.40		2.87	3.53	6.42	189.23	203.24	
	水痘	1.50	1.00	0.64	2.67	5.00	2.80		1.63	1.60	1.29	51.63	36.28	
	手足口病		0.43						0.40	0.17	0.47	1.80	3.84	
	伝染性紅斑	0.50	0.29	1.09	0.33	2.50	0.40		0.77	0.87	0.20	21.37	4.47	
	突発性発疹	0.50		1.09	0.67	1.00			0.57	0.40	0.67	11.57	13.18	
	百日咳			0.27					0.37	0.33	0.03	6.60	0.60	
	ヘルパンギーナ	0.50	0.86	1.27	1.67	1.00	6.20		1.97	1.50	1.43	6.63	4.11	
	流行性耳下腺炎		0.14	0.27	0.33				0.37	0.50	0.54	16.87	12.10	
RSウイルス感染症							0.20	0.03		0.11	20.67	8.17		
眼科	急性出血性結膜炎										0.02		0.40	
	流行性角結膜炎								0.33	0.54	7.33	13.34		
基幹	細菌性髄膜炎										0.01	0.86	0.49	
	無菌性髄膜炎										0.04	1.57	0.67	
	マイコプラズマ肺炎			0.60					0.38	0.63	0.90	16.86	20.42	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)										0.02	0.57	0.74	
計	(小児科定点当たり人数)	7.50	6.30	10.17	11.00	18.50	14.20	10.42			720.31			
前週	(小児科定点当たり人数)	9.50	7.69	11.88	8.32	10.50	13.80		10.61					

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869